

## 第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

### 報告書資料 一般 - 01

学校名・団体名	八戸市立豊崎小学校
HPアドレス	<a href="http://www.hachinohe.ed.jp/toyosk_e/">http://www.hachinohe.ed.jp/toyosk_e/</a>
コース	学校支援
活動・研究テーマ	豊崎の名所ウォークラリーで豊崎郷土カルタを作ろう！

#### 〈活動・研究の意義、目的〉

本校は、八戸市の内陸部である西側に位置し、五戸町との隣接した広々とした田園の中にある。豊崎地域の特性として、普賢院や「南祖坊（なんそのぼう）」伝説、七崎神社の千年杉、会津藩士の墓など、興味深い歴史や言い伝えが数多くある。

しかし、このような貴重な豊崎の歴史や文化について知らない児童が多く、伝承が途切れる恐れがあると、昨年度、地域の有志の方々が、「豊崎地域『地域の底力』結集会議」を立ち上げ、豊崎町の21ヶ所の歴史・文化案内マップを製作し、各所に案内標識を設置するなどの事業を行った。

そこで、地域の方々が苦労して作成した「豊崎町歴史・文化案内マップ」を実際に歩いて巡るウォークラリーをすることを通して、「豊崎郷土かるた」として残していきたいという願いが出された。豊崎町の歴史や名所を「かるた」という表現形式で残すことで、貴重な豊崎町の歴史や文化を伝承し、地元を誇りに思い、愛着を深める児童の育成につなげたいと考えている。

昨年度、八戸市の海岸側にある種差小児童が作った「三陸復興国立公園種差海岸かるた」とかるた大会で交流をし、同じ八戸市であっても、海岸側と内陸部での違いを共有し、それぞれの地域の特徴やよさを再認識することを目的とした。

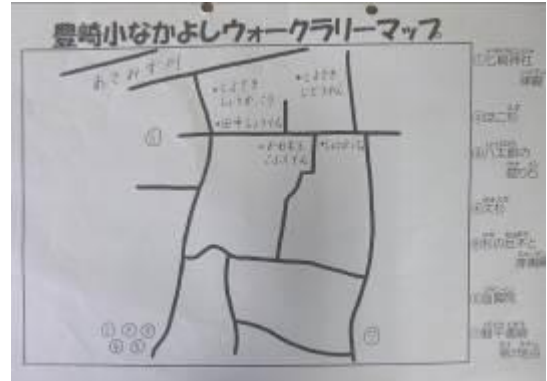
## 1 豊崎町歴史・文化案内マップでウォークラリーをしよう

講師：豊崎の歴史・文化再発見プロジェクトリーダー小泉幸雄氏他4名

- (1) 日時：11月9日(木) 全校児童が縦割り班(11名~12名)に分かれて活動
- (2) 目的：豊崎の歴史・文化案内マップに従い、『豊崎小なかよしウォークラリー大会』をすることにより、かるたの材料を探す。(実地踏査)



平成28年度に地域の方から豊崎小に寄贈された「豊崎の歴史・文化再発見」の案内看板



21ヶ所のポイントのうち、学校周辺の7ヶ所を2時間でウォークラリーすることとした。

### (3) 活動の内容

チェックポイントは、①七崎神社拝殿②ほこ杉③八太郎の唸り石(うなりいし)④大杉⑤杉の巨木と神輿殿⑥普賢院⑦咽平遺跡(のどひらいせき) 第2地点の7ヶ所である。各ポイントに着いたら、まず、講師の先生の説明をよく聞く。班の引率教師が出す各ポイントの3択クイズを答えて、記念写真を撮影するとミッションは終了し、ウォークラリーマップにシールが貼れる。次に目指すチェックポイントを班員で相談して決める。

### (4) 活動の様子と成果

全行程約3キロの上り下りの多い地形にある7ヶ所のポイントに、講師の先生方が事前に立札を立ててください、6年生の班長を先頭に地図を片手に、立札を探しながらウォークラリーすることができた。難しい歴史や言い伝えもクイズ形式で分かりやすく教えてもらい、低学年の子どもたちも楽しく活動できた。この実地踏査を通して、昨年度創立140周年で披露されたかるたの読み札に歴史的な史実を盛り込んで手直しする意欲が高まった。



① 七崎神社拝殿(本殿に歴史の札収納)



② ほこ杉(幹が鉾の形の千年杉)



③ 八太郎の唸り石(八太郎伝説)



④ 大杉(市文化財指定の千年杉)



⑥ 普賢院(南祖の坊・七崎姫伝説)



⑦ 咽平遺跡(土器やかまどが発掘)

⑤ 杉の巨木と神輿殿



## 2 読み札・絵札の完成

この『豊崎郷土かるた』は、平成25年～27年の3年間で「豊崎を自慢しよう」のめあてで、総合的な学習の時間を使って作られたものがもととなっている。

今回、手作りの大判かるたの読み札に、ウォークラリーで知った豊崎ならではの歴史に関する言葉を盛り込んで何枚かを作り直す作業を行った。読み札の言葉を五・七・五に整えて、箱入りの手のひらサイズの『豊崎郷土かるた』を完成させた。

【箱入り『豊崎郷土かるた』】



【かるた一覧表ポスター】



## 3 種差小へ出かけて、かるた交流会しよう

(1) 日時：2月5日(月) 豊崎小5年15名と種差小5・6年9名で交流会

(2) 目的：『豊崎郷土かるた』が完成したことを祝って、昨年度『種差景観かるた』を完成させた種差小学校を訪問し、互いのかるたを紹介したり、一緒に遊んだりする活動を通して、それぞれの地域の特色やよさを体感させる。

### (3) 活動の内容

- ① オリエンテーション(活動の流れの説明・名刺交換タイム)
- ② 豊崎小学校紹介・『豊崎郷土かるた』紹介
- ③ 種差小学校紹介・『種差景観かるた』紹介
- ④ かるた大会(5グループ 1グループ4～5人)
- ⑤ 成績発表・感想発表・記念写真撮影

### (4) 活動の様子と成果

1時間ほどバスに揺られて、潮風の吹き込む種差小へ到着。さっそく5・6年生9名と名刺交換で親睦を深め、お互いのかるたを紹介し合った。事前にとった質問では、「どうして、永福寺の名前が普賢院になったか。」「屋号ってなあに。」「相撲大会が9月7日にあるのはどうして。」「七崎音頭はいつごろから踊られているのか。」など聞かれていたので、もう一度、詳しく調べて紹介した。

昨年度種差小で制作した『種差景観かるた』には、国立公園種差海岸の風景が読まれていて、「くじら」「いわし見張り岩」「海の神様大祐神社」「種差音頭」「仙人穴」など、川を中心に田畑の広がる豊崎では見られない言葉があり、詳しく教えてもらった。かるた大会では、「ピョンチャンオリンピックに出場した亜実選手の絵札をとるぞ。」と張り切る種差小の子いるほど、大盛り上がりになった。お互いのかるたの交流を通して、それぞれの地域のよさを発信し合とともに、自分たちの地域の特徴を再認識することができた。



【お互いのかるた紹介の様子】



【一緒にグループでかるた大会】

## 4 成果

- (1) 「歴史・文化案内マップ」の名所を、実際に歩いて調べる活動を通して、自分たちの住む地域の歴史や文化に関心をもつことができた。
- (2) 自分たちが考えた言葉や絵で、豊崎のよさをかるたに表現する活動を通して、地域のよさを伝承し、語り継ごうとする意識が高まった。
- (3) 地域の方が制作した「歴史・文化マップ」を学校教育のふるさと学習に生かすことで、地域密着型教育の活性化を図ることができた。
- (4) 地域に根差した活動をすることで、地域の豊かな自然、生活、施設、歴史的な言い伝え、文化に誇りもち、愛着を深める子を育成することができた。